

## 国内大学も遠隔続く 心のケア・就活支援が課題

2020/8/27付 | 日本経済新聞 朝刊

新型コロナウイルスの感染再拡大で、国内の主要大学は秋からの新学期を原則オンラインによる遠隔授業とする見通しだ。登校を再開した小中高校に比べて制約が多く、学生からは不満の声が上がる。通学できていない新入生のケアや就職活動のサポートなど、各大学は対応の強化を急いでいる。（1面参照）

文部科学省の調査によると、7月1日時点で短大も含め全1012大学で授業は行われ、対面と遠隔の併用が61%、遠隔のみが24%だった。対面を全面的に実施しているのは15%にとどまった。

「併用」「遠隔のみ」と回答した学校のうち、対面を全面再開する時期を検討中としたのは約6割、9月以後との回答は2割強だった。

秋以降も遠隔を採用する東京大。4月以降、全授業を遠隔で実施した結果「物理的な制約を受けず、学生のより主体的な授業参加など新たな教育の効果が蓄積されている」と判断した。2021年度以降も遠隔の計画的な導入を検討する。

同志社大は9月からの秋学期を「ウィズコロナに対応した形態」として3密を避けながら対面を再開し、ネット配信の授業を併用する。

### 募る学生の不満

学生の不満は募る。都内の国立大の女子学生（20）は「小中高校なども再開しているのに大学生は我慢させられている」と憤る。「友人とスマホでしかコミュニケーションをとれず、課題だけの講義もある。これで大学生といえるのか」

萩生田光一文科相は記者会見で「大学教育はオンラインで全て完結するものではない」と強調。「小中学校でも感染対策の工夫をしながら通学させている。大学だけが完全に閉じるのはいかなものか」と苦言を呈す。

大学が慎重なのは「学生は行動範囲が広く、学内だけでも厳格に対応しないと集団感染が多発しかねない」（都内の大学関係者）と懸念するからだ。

京都大や三重大などでは学外活動によるクラスター（感染者集団）が発生、批判を招いた。早稲田大の田中愛治総長は「夏休み中にクラスターが発生すれば、緊急事態宣言が出ていな

くても全ての授業をオンラインに切り替えざるを得ない」と学生に自制を促す。

ただ、一度も通学できていない新入生らへの配慮は必要だ。「他の学生とも交流がないので不安」などの声があり、メンタル面への悪影響を懸念する声は強い。

文科省は感染対策を講じた上で対面授業を実施している大学の「好事例」を同省ホームページで公開するなど、各大学に対応を促している。

### 新入生交流促す

ケアを充実させる大学は増えてきた。近畿大は6月、約8300人の新入生を分散して初めてキャンパスに足を運んでもらう機会を設け、7月末まで続けた。「やっと大学生になった実感がわいた」との声が出たという。大阪大も同様に新入生のための交流会を開いた。

2年生が1年生のケアをする「オリター」制度を設ける立命館大は今年度、オンラインで相談などに乗れるようにした。仲谷善雄総長は「秋学期以降は新入生同士が交流できるようにしたい」といい、各学部で検討を進めているという。

オンラインや電話を通じた相談窓口を設ける大学も多いが、「対面して直接話を聞くハードルは高い」（東京都内の私立大関係者）。首都圏では7月以降に感染者が急増したことで、キャンパスの開放に踏み切れなかった大学が少なくない。

就職活動の支援も課題だ。同志社大キャリアセンターは面接の練習を兼ねたオンラインでの相談窓口を設け、一度相談した学生のその後も追跡して現状を把握。きめ細かくサポートする態勢を整えた。

### 主要大学の秋以降の対応

北海道大	感染対策を講じて適切と思われるものについて対面実施
東北大	遠隔を中心とし、通学が必要な授業を実施
東京大	大人数の講義など一定程度はオンラインで行いながら対面での授業再開
一橋大	ゼミ・演習など一部のみ対面可能。他は原則オンライン
東工大	講義室での対面やオンライン配信、自宅でのオンライン受講を組み合わせ
横浜国立大	卒業・修了に必須な一部授業のみ対面で実施する場合がある
名古屋大	現状は対面は行わないが、9月上旬に方針を公表
京都市大	感染拡大状況に鑑みて慎重な対応が必要で、早急な公表は困難
大阪大	全ての学年で対面の実施可。メディア授業も併用
早稲田大	議論を重視する授業などに限り対面。オンライン受講できる教室を開放
慶応大	オンラインを継続しながら一部の授業を対面で実施
明治大	少しでも多く対面を取り入れ、登校を控えたい学生らにはオンライン配信
上智大	実験・実習や教職課程など、対面の必要性が高いものに限り構内で開講
青山学院大	必要不可欠な対面のみ可能。そのためだけに首都圏に移動しなくてよい
立教大	原則オンライン。学期末の筆記試験は行わず。レポートはウェブで提出
法政大	対面で実施する科目もオンラインで受講できるようにする
中央大	一定の条件下で対面実施。通学圏内への移動が困難な学生には配慮
日本大	対面と遠隔を併用。キャンパス入構時は体調を確認する
同志社大	ネット配信授業を併用しながら対面を再開
立命館大	指針レベル3以上になれば原則オンライン。2以下は全て対面も可

(注) ホームページなどから作成

遠隔授業の質を高める試みも動き出している。国立情報学研究所は3月末から、各大学の遠隔授業の状況を共有する「サイバーシンポジウム」を14回開催。東大や京大など主要大の遠隔での授業や試験などが示され、2千人超の教員が参加する回もあった。

喜連川優所長は「オンライン講義の経験を持っている大学などのノウハウを共有する場が必要だと考えた」と語る。シンポでは韓国の教育学術情報院の職員や米ノースカロライナ州立大の教員らが参加し、海外の事例も紹介された。

文科省は今後、秋以降の大学の授業形態や新入生への対応策を調査。後期が始まる9月中旬ごろまでに優れた取り組みなどを公表する方針だ。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.